

目的と概略

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2019」（令和元年6月21日閣議決定）では「大きなパラダイムシフトの鍵となるのが、デジタル化を原動力としたSociety5.0の実現」であるとしています。

このような状況下で弊会では、Society5.0の基盤となるインフラプラットフォームに関する最新動向及びその利活用による地域活性化を目指し日々研究活動を推進しております。ここでは、各団体での課題解決にお役立ていただくことを目的にして、既に全国各団体で取り組まれている事例及びAPPLICでのタスクフォース活動の様子を整理いたしました。

特集1.1は、Wi-Fi等ICT環境整備タスクフォースで今年度研究調査をした事例の中から全国の自治体向けにご紹介すべきと考えた事例を掲載しています。単にインバンド向けインターネット接続用にWi-Fiインフラを整備するにとどまらず更なる利活用に向けて努力をされている事例をご紹介します。

自治体の整備するWi-Fiも数多く見られるようになりましたが、先導的な自治体においても様々な課題が見られます。特に、Wi-Fiをひとつのセンサーと見立て、取得できる各種データを活用する事例が注目される一方、データを取得するための工夫不足、エビデンスとなる定量数値ときちんと向合う姿勢の欠如が散見されており解決が急がれます。

特集1.2は、ICT利活用タスクフォースで今年度研究調査をした活動からコアな部分を整理して掲載しています。本活動はAPPLICの中でも新しいタイプの活動であることから活動内容を知っていただく目的で掲載しました。今年度は、自治体職員を招聘しての産官学連携の検討会の実施など新たなステージへ進化いたしました。今後、公表予定の映像ツールと合わせてご覧いただければ幸いです。

特集1.3は、普通会员からご寄稿のございました事例について掲載いたします。

特集2は例年通り総務省が表彰した優良事例かつ、ご寄稿いただいたものを掲載します。